

# 信州大学創立70周年・旧制松本高等学校100周年記念事業

## ご寄附のお願い

平成31年（2019年）、信州大学は、昭和24年（1949年）に新制大学として設立されてから70周年の節目を迎えます。設立時の前身校は、松本医科大学、旧制松本高等学校、長野師範学校、長野青年師範学校、長野工業専門学校、上田繊維専門学校、長野県立農林専門学校で、それぞれに歴史を有しております。それら前身校のうち、旧制松本高等学校は、松本市の20年にわたる誘致活動の後、大正8年（1919年）に誕生しています。旧制松本高等学校の誕生から数えるとちょうど100年目の記念すべき年となります。このように歴史を刻んでこられたのは、地域の皆様、同窓会の皆様、自治体の皆様、企業の皆様など、多くの皆様のご支援とご協力によるものと心より感謝申し上げます。

さて、文理、教育、医、工、農、繊維の6学部で発足した新制信州大学は、幾度かの改組を経て、人文、教育、経法、理、医、工、農、繊維の8学部体制となっており、現在約9,100名の学生が学んでおります。また、大学院には、博士課程に総合医理工学研究科、修士課程に人文科学研究科、教育学研究科、経済・社会政策科学研究科、総合理工学研究科、医学系研究科があり、約1,900名の学生が勉学・研究に励んでおります。さらに、本学において特徴的で、融合連携して教育研究に取り組むことができ、将来にわたって継続して必要な教育研究領域を集約した先鋭領域融合研究群では、人類社会の持続的発展を目指した独創的研究を推進し、内外より高い評価を頂いております。このように、常に時代に呼応した教育組織の改編や研究領域の開拓を行い、次代の人材育成に尽力してきました。

一方、地域連携、産学官連携、大学間連携など様々な連携にも積極的に取り組み、地域貢献度の高い大学としてもイノベティブな大学としても認知されております。もともと地域の皆様の熱心な誘致により誕生した前身校を持つ信州大学です。教育と研究が大学の本来の使命ですが、社会貢献（地域社会・経済社会・国際社会等、広い意味での社会全体の発展への寄与）の役割も十分に果たしていきたいと考えております。その上で、これからの「知識基盤社会」を知の拠点として支えていきたいと考えております。

信州大学創立70周年・旧制松本高等学校100周年記念事業は、地域の皆様への設立に対する思いを今一度思い返し、信州大学の新時代に向けた出発点と考えております。時代を先取りした先導的な大学を目指して活動を活発化させていきたいと考えておりますので、地域の皆様、同窓会の皆様、自治体の皆様、企業の皆様など、関係する皆様には信州大学の活動にご理解をいただき、ご支援・ご協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2018年5月吉日

国立大学法人信州大学

学長 濱田 州博